

「産学連携プロジェクト・健康医科学研究」 2009年公開シンポジウム

近年、予防医学は大きな発展を見せていますが、健康増進や長寿に関して必ずしもエビデンス(科学的な根拠)が確立されているわけではありません。「こういう食べ物を食べれば健康になる。」「こういった運動が良い。」といった、人にとってのINPUT系は非常にたくさんありますが、それが本当に効果があるのかどうかを検証するOUTPUT系がほとんどないのが現状です。何をどれだけ摂取し、どのような運動をすべきか、これは個人によって大きく差があります。そこで、こうした個体差を考慮した健康医科学の確立に産学として取組んでいくために、東海大学(医学部を核に)と種々の企業(異業種)が集結し、昨年4月より「産学連携プロジェクト・健康医科学研究」をスタートさせました。そこでは、特に大学や企業の様々な技術、英知を結集したOUTPUT系の測定技術の開発が重要な要素になっています。

現在、高齢化時代から超高齢化時代に突入しようとしています。また、一方では、三大疾病として知られているがん・心疾患・脳血管疾患のいずれかの原因により、実に10人に6人が亡くなっています。したがって、このような中で、国民の健康度を高め、如何に健康に過ごせるようにしていくか(健康老化)が最大の課題となっています。本年4月より、東海大学周辺自治体の協力を仰ぎ、今まさに老化に直面している世代である55～65歳の市民を対象として、「健康指標確立のための栄養と運動のコーチングに基づく研究」を実施していきます。これらのデータからどのような栄養と運動が最適なのか、産学官が一致協力して答えを導き出し、最終的に一人一人の「個人に最適な栄養と運動のプログラム」を確立していくことを目標にしています。

～ 健康医科学の確立に向けて ～

【基調講演】

「健康に関するプロジェクトの現状と今後の展開」

日経BP社医療局
主任編集委員 宮田 満

「健康の生物学～アミノ酸栄養を例として」

東京大学名誉教授
味の素株式会社 顧問 高橋 迪雄

「アンチエイジング医学のサイエンス」

慶應義塾大学医学部眼科学教室・日本抗加齢医学会副理事長
教授 坪田 一男

日 時:平成21年3月3日(火) 13:30-17:40 (懇親会17:40-19:40)

会 場:東海大学校友会館「阿蘇の間」

場 所:東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル33階

<http://www.tokai33.co.jp/>

参加費:無料

申込み:氏名・会社名・電話番号・メールアドレス・懇親会出席可否を
ご記入の上、事務局にメールをお願いいたします。

事務局: ths@tokai-u-hcs.org , Tel:0463-92-8051

H P : <http://www.tokai-u-hcs.org/>

主 催:学校法人東海大学、健康医科学産業推進協議会

12:30 ~ 受付開始

13:30-13:40 【主催者挨拶】 東海大学医学部長
教授 猪子 英俊

【基調講演】

13:40-14:20 「健康に関するプロジェクトの現状と今後の展開」
日経BP社医療局
主任編集委員 宮田 満

14:20-15:00 「健康の生物学～アミノ酸栄養を例として」
東京大学名誉教授
味の素株式会社 顧問 高橋 迪雄

15:00-15:40 「アンチエイジング医学のサイエンス」
慶應義塾大学医学部眼科学教室・日本抗加齢医学会副理事長
教授 坪田 一男

15:40-15:50 Coffee Break

【プレゼンテーション】

15:50-16:10 「健康医科学に向けた体内動態の無侵襲な計測技術について」
(株)島津製作所分析計測事業部マーケティング部
マネージャ 井上 正雄

16:10-16:40 「老化に伴う骨格筋萎縮の分子機構の解明と
その抑制策としての運動の有用性」
東海大学体育学部生涯スポーツ学科
准教授 町田 修一

16:40-17:10 「抗加齢ドッグ2年間の歩み」
東海大学東京病院副病院長・医学部内科学系
ライフケアセンター抗加齢ドッグ統括部門長
准教授 西崎 泰弘

17:10-17:40 「健康医科学研究の研究デザインと実施計画」
東海大学医学部基礎学系長・ライフケアセンター長
教授 石井 直明

17:40 閉会宣言

17:40-19:40 懇親会